

市史編さんだより

第12回

『新編 桐生市史』編集委員

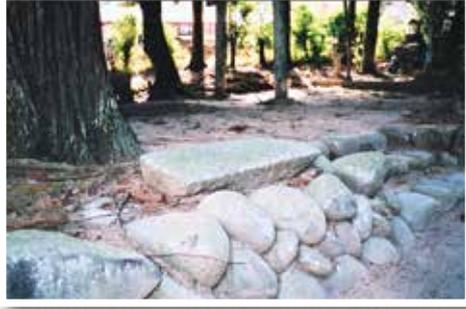
民俗部会専門委員

亀井 好恵

「記憶からつむぐ土地の歴史」

広沢町六丁目の賀茂神社の鳥居脇に小さな石祠があります。この石祠は、広沢の地に伝わる「曾我の七橋」に關係する曾我宮です。

「曾我の七橋」の伝説は、今ではもう覚えていない人も少ない、忘れかけられた伝説です。「曾我兄弟が仇討ちをしたのち、その縁



▲石橋の一部。同様の板石3枚で石橋とした。



▲曾我宮。石祠の左側に銘文あり。

者がこの地に来て兄弟供養のために七つの橋をかけた」という、とても断片的な話が残るに過ぎません。

曾我宮は、元は別の場所に祀られていましたが、集会所を建てる際に賀茂神社に遷され、曾我宮の前にかかれていた石橋の一部も賀茂神社境内に移されました。石板の大きさから石橋

をかけた川は、それほど広い川ではなさそうです。

広沢には「曾我の七橋」と同様に、「七」の数が印象的な「七橋七地蔵」の伝説があります。この伝説は「広沢には七つの石橋と七つの地蔵がある」という、さらに断片的なものです。

これらは口頭伝承としては、ほとんど消えた伝説です。しかし、現地を歩き、時には古い地図や文書を探り地元の人々の話を聞くなどするうちに、2つの伝説の因果関係が、広沢の灌漑用水であった「大同堀」と深く関係するものとして明らかになってきました。

民俗調査は、小さな記憶の断片から土地や人々の生活の歴史を編む作業なのでしよう。

問い合わせ 市史編さん室
(☎477335)

パチリいい顔 桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505）へ。



はこだ あつね
箱田 敦音ちゃん
4歳1か月
(新里町山上)



はこだ はるね
箱田 遥音ちゃん
2歳2か月
(新里町山上)



はこだ あやね
箱田 絢音ちゃん
3か月
(新里町山上)

広告